

キーワード 問い・仮説・検証の三要素	キーワード 質問
具体的な内容 討論会に当たって、ステップチャートを作成したときの三要素。仮説は問いの答えにできるもの予想とし、検証は問いの答えを見つかるに当たっての方法を考えた。今回の場合は、討論会の聴衆という視点で問いかける方法を考えた。今回は、今回限られた方法で調べなければならぬ中で自分の調べたいものを知るための方法を考えた。他に、案外たいと追突する力も高まったのではないかと。	具体的な内容 討論会で相手の主張を聞いていかに情報を、主張と理由を聞き分けさせるための根拠を聞いて聞くこと。この場合での質問、相手の意見を踏まえ相手の意見を信用しに聞いてみることを感じた。それは、自分が上であるとして相手を引き上げる質問、相手を下に落とすような質問というイメージができた。次に、討論会の価値を知った。
学習を通して身に付いた力・発揮した力 ・ 欠けたものを追究する力 ・ 相手の考えを引き出す力 ・ 問い・仮説・検証の三つをしっかりと繋ぎ合わせる力	● 学んだことを生かせる場面 ・ 話し合い ・ プレゼンテーション ・ 議論を始めた などの、その内容を深めるための質問、
理解が足りなかったこととその対策 知りこ議論への解答を打ち手が足りなかったと、模範から何が聞きたか分からなくて、それと本音がどうもまじりあっていかに分からなかった。たまたま、発表などを通して、どうもこの質問を聞いてみるのが、うまくいくことができた。	

単元の学びを振り返ろう

キーワード 討論のメリット	キーワード 視点
具体的な内容 実際に討論をしてみた、最初は相手意識が多角的な視点で身につくというを挙げていたが、それだけでなく自分の意見を発展させ、よりよくなるというはたしめもあると感じた。討論の準備が相手からの反論を新たな視点を得られることでもあり、そのより自分を通じた自分の意見の主張と理由、根拠が明確になっていて、論理的な良い意見になっていくのではないかと考えた。	具体的な内容 討論では、どの視点に立つかによってそれだけの意見への考えの深化は。物事には様々な側面があり、その意見でも、良い面と悪い面とを比べられることがあるので、どちらかの立場に片寄ってしまうのではなく、様々な視点を考えること、また、討論会のために、その意見の良い側面を伸ばし、悪い側面を改善していくことで、よりよい意見に発展させること、が日常においても生かせるのではないかと考えた。
学習を通して身に付いた力・発揮した力 ・ 物事を多面的、多角的に考える力 ・ 論理的に考え、簡潔にまとめる力 ・ 意見に説得力を持たせ相手に納得させる力	● 学んだことを生かせる場面 ・ 自分の意見を発表するとき ↳ 今回どのように意見を発信すれば説得力を持たせられるか、よりよい意見になるか、ということを学べたので、その学びが活かせると思う。
理解が足りなかったこととその対策 反論に対して、すくなくとも答えにない質問があったので、もっと、意見の方向性をハッキリさせ、深く考えられていると良かった。 ↳ 思考シートを用いて考えを可視化(言語化)していく、反証を先にしっかりと考えておく、共通理解しておく	・ レポートを書くとき ↳ 自分の意見をまとめることや、根拠、理由、改善をなげけることなどが生かせるのではないかと。





